

2023年5月25日

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

2022年度東海3県主要集客施設・集客実態調査の結果を公表

～行動制限のない連休やイベントの再開・規模回復で、8割強の施設が対21年度比集客数増
2割強の施設で新型コロナ前の水準を上回る～

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:池田 雅一)は、「2022年度東海3県主要集客施設・集客実態調査」の結果をとりまとめましたので、お知らせいたします。

1. 本調査について

本調査は、東海3県(愛知県、岐阜県、三重県)の集客施設における集客実態を把握するため、毎年実施しているものです。今回は2023年4月～5月に各施設に対してアンケート調査を実施し、2022年度(22年4月～23年3月)の集客実態について75施設から回答がありました。

今年度の調査では、新型コロナウイルス感染症流行(以下、新型コロナ)前(※)との状況比較のため、2019年度、2021年度、2022年度の3ヵ年度分の集客状況を掲載しています。

※新型コロナ感染防止のための「新型コロナウイルス対策の特別措置法」は2019年度(20年3月)に成立したが、本調査では1回目の緊急事態宣言の発出(20年4月)前の2019年度を「新型コロナ前」と設定。

2. 調査結果の要旨

(1) 集客数上位施設について

集客数上位5施設の集客状況は下表の通りとなりました。

	施設名 (所在地)	集客数 (対21年度比)	結果分析
1	ナガシマリゾート (三重県桑名市)	約1,200万人 ^{※1} (13.0%増)	17年連続で首位。繁忙期(ゴールデンウィークや夏期休暇・冬期休暇)に行動制限がなかったことが好影響。
2	刈谷ハイウェイオアシス (愛知県刈谷市)	約737万人 (16.0%増)	行動制限のない繁忙期の他、施設でのイベント再開・規模回復や、団体旅行の回復等が好影響。
3	中部国際空港セントレア (愛知県常滑市)	約481万人 (76.2%増)	行動制限緩和による国内旅客回復に伴う送迎の増加や、空港に遊びに来る人の増加が好影響。
4	河川環境楽園 (岐阜県各務原市)	約412万人 (13.6%増)	飲食・テイクアウト店の新規オープンや、施設でのイベント再開等が好影響。
5	バンテリンドームナゴヤ (旧ナゴヤドーム) (愛知県名古屋市)	約317万人 (163.7%増)	プロ野球開催時の観客入場制限撤廃が特に好影響。

※1 「ナガシマリゾート」は年度値(22年4月～23年3月)ではなく、年間値(22年1月～12月)

(2) 対 21 年度比増減および対 19 年度比増減の傾向について

対 21 年度比では、72 施設^{※2}中 61 施設 (84.7%) で集客数が増加、11 施設 (15.3%) で減少となりました。集客施設の繁忙期にあたるゴールデンウィークや夏期・冬期休暇期間に新型コロナによる行動制限がなかったことや、施設でのイベント再開・規模回復等が集客数増に寄与しました。

対 19 年度比では、73 施設^{※2}中 18 施設 (24.7%) で増加しており、新型コロナ前の水準を上回りました。55 施設 (75.3%) では新型コロナ前の水準には戻っていないものの、対 19 年度比で増加した施設の割合は、21 年度調査結果 (9.7%**) から増加しており、回復基調が見てとれます。

調査結果の詳細につきましては、当社ホームページ掲載のレポートをご覧ください。

<https://www.murc.jp/library/report/seiken_230525/>

※2 過年度の数値と比較可能な施設

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

観光戦略室 兼 研究開発第 2 部(名古屋) 加藤、内田

〒460-8627 愛知県名古屋市中区錦 3-21-24 三菱 UFJ 銀行名古屋ビル

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 杉本 E-mail:info@murc.jp 電話:052-307-0764

配布先 名古屋証券取引所・金融記者クラブ